

## 育児に関する両立支援制度の活用例

## 1 小学校就学までの期間における例

## (1) 子の成長に合わせて勤務する時間を段階的に長くしていく例

	0歳	1歳	2歳	小学校入学
例1	育児休業		育児短時間勤務	フレックスタイム制

	0歳	1歳	2歳	小学校入学
例2	育児休業	保育時間(60分) 育児時間(60分)	育児時間(90分)	育児時間(60分) 育児時間(30分)

## (2) 夫婦間で分担して制度を活用する例

## 例1

	0歳	1歳	3歳	小学校入学		
夫	配偶者 出産休暇	育児参加 休暇	育児 休業	勤務	(保育所入所) 育児短時間勤務	フレックスタイム制
妻 (民間)	産後休業		育児休業	勤務	フレックスタイム制 (始業時刻変更等)※1	

※1 育児介護休業法  
第24条第1項の規  
定による努力義務

夫婦間の交替のタイミングについては、保育所入所又はお互いの職  
場の定期異動のタイミングに合わせることが考えられる。

## 例2

	0歳	1歳	3歳	小学校入学
夫 (民間)	育児休業	勤務	短時間勤務※2	時差出勤 (始業時刻変更等)※1
妻	産後休暇	育児休業	勤務	早出遅出勤務

※2 育児介護休業法  
第23条第1項によ  
る措置義務

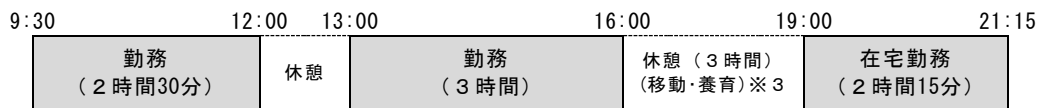
(3) 夫婦ともにフレックスタイム制を活用する場合の例



(4) 夫婦ともに早出遅出勤務をする場合の例



2 在宅勤務を活用する例



※3 休憩時間の延長が可能（延長された休憩時間の直前又は直後に在宅勤務を行うことが必要）